

平成30年度第2回「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議学生留学部会」  
(北海道創生・海外留学支援協議会幹事会) 議事概要

1 日 時 平成30年11月27日(火) 10:30～

2 場 所 道庁総合政策部会議室

3 出席者 別添出席者一覧のとおり

4 議事概要

- ・事務局から資料に基づき説明。

5 質疑等

(資料3地域別説明会について)

○北海学園大学：高橋係長

- ・地域別説明会の実施結果についてお聞かせ願う。

○事務局：丹尾参事

- ・北海道教育大学は、札幌校で4名、TV中継をした旭川校で2名が参加した。もう1校、学生が1名参加する予定だったが、都合が悪くなり参加できなかったとのこと。
- ・北見工業大学は、1年生のドイツ語と中国語の授業時間を借りて計2回実施し、合計で141名が参加した。
- ・札幌学院大学も授業の中で実施し、30～40名参加した。

(寄附金・道拠出金について)

○北海道大学：川野辺教授

- ・今後のことを考えると財源はとても重要だと考えるが、寄附金はどの程度集まっているのか。また、道庁から拠出金はどの程度か。

○事務局：丹尾参事

- ・道は3年間で1800万円拠出している。
- ・寄附金は、年600万円集めればよいところ、累計で約5000万円集まっている。しかし、内訳を見ると、周年事業で1000万円寄附をいただいたり、数百万円いただいたりという状況なので、継続的・安定的な寄附だけを見ると、必要な寄附額の600万円には届いていない。

○北海道大学：川野辺教授

- ・道庁も相当な拠出をしていると考えるが、引き続き予算の確保にご尽力願う。

(書面審査委員について)

○事務局：丹尾参事

- ・2期生の審査から書面審査を導入し、今年は、地域コーディネーターと、第1期生の所属大学の方に審査をしていただいたところ。
- ・来年度も同じ方法で、第2期生の所属大学に審査をして頂くとなると、川野辺教授が所属する北大は重複するので除き、地域コーディネーター3名、北海学園大学1名の計4名で審査することになり、人数的に足りない状況。そのため、第1期生の所属大学に引き続き審査を依頼したいと考えているが、よろしいか。

(→意見無し)

(資料2)危機管理について)

○北海道科学大学：金田課長

- ・ 海外旅行保険の関係だが、大学側では学生に対して、正規の保険会社に入るようお願いしているが、カードの付帯保険を利用する学生もおり、その関係でトラブルが発生している。事務局で作成した危機管理のマニュアルでは、付帯保険のトラブルについてどのような対応を考えているのか。

○事務局：丹尾参事

- ・ 事務局としては、保険に入るようお願いしているほか、事前オリエンテーションで保険会社の社員から講義をいただき、カードの保険では不十分であることも説明している。また、緊急連絡先を聴取する際も、保険会社の連絡先を聞き取る等、重ねて保険に入るよう要請しているところ。

(募集関係)

○北海道科学大学：金田課長

- ・ 道の要項の開示は、全国コースの要項の開示よりも遅いので、応募書類の作成上、もっと早く開示した方がよいと思うが如何。

○事務局：丹尾参事

- ・ 事務局としては早く開示したいところだが、開示にあたって財政担当部局の決裁が必要となるため、手続き上、早くて2月頃の開示となってしまう。
- ・ 来年度の変更点については、協議会加盟校に対して予めご連絡を差し上げたい

○北海道科学大学：金田課長

- ・ 協議会加盟校は情報が手に入ると思うが、加盟していない大学は情報が手に入らないので、学生が渡航する国へのアポとりが必要であることを考えると、スケジュール的に厳しいと考える。

○事務局：丹尾参事

- ・ 協議会に加盟していない大学にも、協議会加盟校と同じタイミングで、変更点をお知らせすることとする。